

意見一覧

1. 事業報告への意見

①ワークショップ	<ul style="list-style-type: none">・朝倉線について、小型バスで十分ではないでしょうか。通勤・通学時間帯にせいぜい乗客一人で運行しているバスをよく見ます。あるいは、便によってバスの大きさを変えるのはどうでしょうか。(矢野委員)・三軒家より奥は任意の地点で乗降できるようになっていると思います。この「どこでもバス停」の機能を最大限活用することが課題であると思います。この路線を走る運転手さんは、日々の乗務の中で利用者の実態や願いをよく知っていると思われる。(特にベテランの運転手さん) 持っている情報を活かされてはどうでしょうか。(矢野委員)・高齢化に伴い、免許証返納後の移動手段は大きな問題となり、ワークショップでの話し合いはとても有意義なものとなりました。問題点を住民が共に考え、意見交換できたことはとても大切でした。公共交通手段(バス)は便数を減らしても生活の足として重要なので維持してほしいものです。(村上恵子委員)・「公共交通は利用しないといけなくなる」という認識を共有しているのは大事なことだと思いました。その上で、見直しの方向性については、個々の利便性の向上だけでなく、利用促進により地域幹線をいかに確保していくかについての議論も必要かと存じます。(西山委員)・WSにより、地域との目線合わせが進んでいる様子が伝わります。観光資源の活用についても検討如何でしょうか。(菊池委員)
②バスの乗り方教室	<ul style="list-style-type: none">・運転手さんの(楽しい)体験をお話することで、将来の雇用の掘り起こしに繋がる原体験になりうるのではないのでしょうか。(西山委員)
③公共交通マップ	<ul style="list-style-type: none">・QRコードがつけてあるので利用価値が大きくとても便利だと思います。(村上恵子委員)・バス路線や旅客運送事業者の連絡先があり親切。WEB上では適宜更新をお願いしたい。(菊池委員)

2. その他意見

- ・地域住民の要望を聞くこと。事業者の考え方・対応を理解し合い、過疎化高齢化は急速に進みます。両者の相互理解を得ながら利用者の確保に努めてほしい。
- ・港、駅から放射線状に運行されているが、病院、スーパー等生活上の必要を考え路線変更を行う。既設路線にこだわり過ぎている。路線をクロスさせることを考える。
- ・降車用のバスストップを設ける。特に山間部等
- ・今治駅前には特に整備が必要
- ・たまたまニュースで仙台市、広島市のバス路線についてやっていました。直に参考にはならないかもしれませんが、日本各地の先進事例について調べ、活かせるところは活かしていくのが良いのではないのでしょうか。(矢野委員)
- ・伯方島のバス料金について、伯方島内のバスは木浦港を始発に島内一周しております。例えば「木浦港→吉田」へ行きたいとき、通常なら北浦周りで行くと最短で到着可能です。しかし、バスの時刻表を確認すると、北浦周りでは3時間待たないといけない時間帯があり、有津周りに乗って行く方が遠回りになりますが早く着くこともあります。ですが、遠回り分料金が高くなります。循環なので島内 200 円～300 円の均一料金にした方が利用者にとっても分かりやすく、親しみが持てタクシー等がない島内で利便性が向上するのではないかと思います。ご検討くださいますようお願いいたします。(阿部委員)
- ・新型コロナウイルスの影響により、開催の判断が難しいと思われませんが、重要な会議であるため、できる限り書面ではなく実施していただきたいと考えますので宜しくお願いします。(佐藤委員)